入棟対象となる状態 （参考資料　H30.3現在）

当院での入院期間は、患者様の状態やご希望、また退院先の状況によりそれぞれ異なります。医師やスタッフと相談しながら決定いたします。

状　態	入棟条件	入院最長期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後の状態または義肢装着訓練を要する状態	発症または術後 2ヶ月以内であること	150日以内
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症または手術後	発症または術後 2ヶ月以内であること	180日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折または2肢以上の多発骨折受傷、手術後の状態	発症または術後 2ヶ月以内であること	90日以内
外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症の状態	発症または術後 2ヶ月以内であること	90日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態	発症または術後 1ヶ月以内であること	60日以内
股関節または膝関節の置換術後の状態	発症または術後 1ヶ月以内であること	90日以内

※医療保険点数改訂により、内容変更になる場合があります。医療機関にてご確認ください

ご入院の流れ

入院申し込み

相談窓口へ電話にてお申し込みください。

※現在治療中の医療機関からのお申し込みとなります。

相談窓口：地域医療連携室
受付時間：平日9:00～16:00

入院手続き面談・見学

入院面談・病棟見学時に、入院案内と手続きを説明します。
入院に必要な書類をお渡しします。
入院日当日ご持参ください。

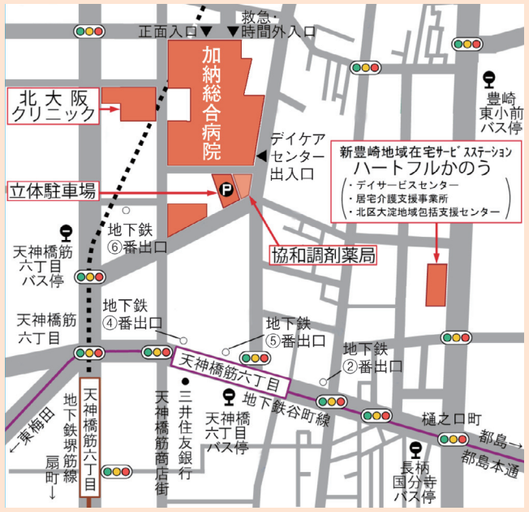
入院から入棟まで

一般病棟で、入院時検査を行います。
リハビリテーションは、指示により開始します。
後日、回復期リハビリテーション病棟へ入棟。

人と人のハートを大切にするハートフルグループ
HEARTFULL GROUP 社会医療法人協和会

回復期リハビリテーション病棟のご案内

加納総合病院　病床数 96床（個室8）



公共交通機関の場合

地下鉄・阪急「天神橋筋六丁目」駅下車、6番出口から北へ徒歩1分。

お車の場合

当院立体駐車場をご利用ください。
また、近隣に民間駐車場もございます。

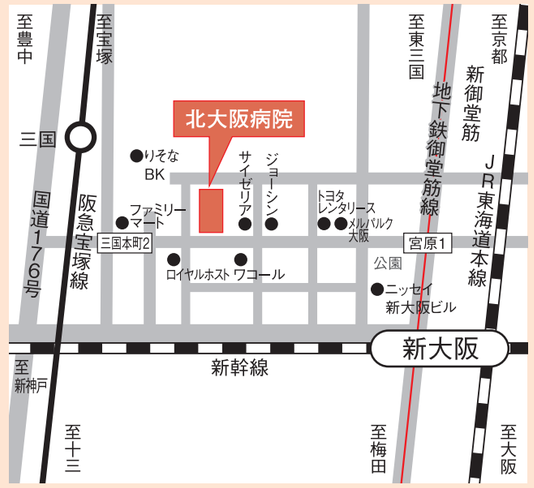
■運用時間：月曜日～土曜日（日曜日・祝日を除く）
9:00～16:00　※土曜日は13:00まで

駐車可能台数 32台

〒531-0041
大阪府大阪市北区天神橋 7-5-15

ご相談・お問い合わせ 06-6351-9810（直通）

北大阪病院　病床数 38床（個室7）



公共交通機関の場合

地下鉄御堂筋線・JR東海道線の「新大阪駅」下車、北出口を西へ徒歩10分。または、阪急宝塚線「三国駅」下車、東口を東南へ徒歩10分。

お車の場合

当院立体駐車場をご利用ください。
また、近隣に民間駐車場もございます。

■運用時間：月曜日～土曜日（祝祭日を除く）
7:30～21:00　※土曜日は13:00まで

駐車可能台数 18台

〒532-0004
大阪市淀川区西宮原 2-7-17

ご相談・お問い合わせ 06-6395-1601（代表）

回復期リハビリテーション病棟について

脳血管疾患・骨折などが原因でリハビリテーションが必要となった患者様に対し、早期より集中的にリハビリテーションを行う為の病棟です。

主な役割

1.予防
早期から障害を予防する

2.機能回復
障害された機能の最大限の回復を助ける

3.機能代償
残された障害を的確に補うことにより生活を豊かにする

概要

病棟スタッフ

たくさんの医療従事者が一緒にサポートします!

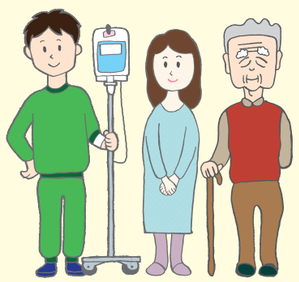
当院では、単に「機能回復」を促がすだけではなく、食事・排泄・入浴・着替え・歩行・コミュニケーションなどの日常生活動作を身につける為のお手伝いを、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護補助者、薬剤師、栄養士、社会福祉士などのスタッフが一丸となって行います。

医師
疾患の状況、治療等、医学的管理を行うとともにチームのリーダーとして治療を行います。

看護師
全身状態の管理を行いながら、退院後の生活に必要な日常生活動作のリハビリをサポートします。

栄養士
入院中の治療に沿った栄養管理や退院後の栄養指導を行います。

薬剤師
入院中の服薬指導・薬剤管理・退院後の服薬指導を行います。



患者様

作業療法士
患者様に応じた、実生活に必要な動作（食事・更衣・家事など）を訓練します。

言語聴覚士
言語障害や摂食、嚥下障害のある患者様のリハビリを担当します。

社会福祉士
病気や障害により引き起こされる日常の相談に応じ、医療福祉制度を活用できるよう支援します。

理学療法士
起きる、立つ、歩くといった動作が出来るよう訓練しながら運動機能のリハビリ担当をします。

当院の特徴

1 私達スタッフは、患者様の「たくさんの笑顔を取り戻すこと」を目標に、個々の状態にあわせた充実した「リハビリテーションプログラム」を365日、アットホームな雰囲気の中で行えるよう心がけています。

2 私達スタッフは、患者様の「QOLの向上（生活・人生の質の向上）」を最終目標に掲げ、病棟やリハビリ室での「機能回復訓練」だけに留まらず、屋外での歩行訓練を通じて地域社会に適応出来る能力を身につけられるよう支援しています。

3 退院前には自宅での環境が整うように、私達スタッフがご自宅の状態を教えていただき、生活場面に即したリハビリテーションの指導や御家族様への介助方法、住宅改修についてのアドバイスも行っています。

ご入院患者様の1日のスケジュール

6:00	起床	食事は、ベッドでは無く、できるだけ椅子に座って、テーブルでの食事をお勧めしています。
8:00	朝食/口腔ケア	口腔ケアで口の中を清潔に保つ事は、むし歯・口臭を予防するだけではなく、誤嚥性肺炎の予防にもなります。
9:00	リハビリテーション 入浴など	
12:00	昼食/口腔ケア リハビリテーション	一週間のリハビリスケジュールにしたがって、リハビリを行います。
18:00	夕食/口腔ケア/ 余暇・趣味活動	余暇時間は、好きな本を読んだり、テレビを見たりして自由に過ごします。
21:00	消灯	

個別リハビリ
職員は定期的に評価やカンファレンスを行い、患者様の状態に最適の訓練を行います。

退院後の生活に備えて

回復期リハビリテーション病棟は、長期入院できるわけではありません。入院したら、少しずつ退院後の生活のことを考えて準備していきましょう。

介護保険申請
退院後の在宅生活を支援する介護保険サービス体制をご提供します。
ご自身に合ったサービスを利用して、在宅生活のイメージを持ちましょう。

家屋評価
退院後のご自宅での生活を重視した訓練・準備を進めていくために、ご自宅の状態を教えていただく「家屋評価」を実施しております。住環境整備、退院までに向上させる能力の確認、生活に即した様々な介護指導や福祉用具の提案などアドバイスします。

外出訓練・試験外泊
主治医許可のもと、入院中に外出・外泊を行い退院の準備をしましょう。
患者様が自宅で出来ること、出来ないことを本人のみならず家族も状態を把握することが目的です。また、入院中の気分転換目的なども可能です。

退院前担当者会議
（＝退院時合同ケアカンファレンス）
入院中の様子や医療情報を病院の担当者が、在宅支援スタッフに伝え情報共有し、ご本人やご家族と一緒に、自宅で過ごす退院プランを一緒に検討する場です。
安全に自分らしい生活が送れるよう、一緒に考えていきます。

訪問リハビリテーション
回復期リハビリテーション病棟にて集中的なリハビリテーションを実施しても、退院してから急に実施しなくなると、機能が低下してしまうことがあります。当院では、要支援・要介護の患者様を対象に、退院後もリハビリテーションを継続したい要望にお応えできる体制を整えています。（利用できる地域はご相談下さい）

(注)実施内容と順序は各施設によって異なります。